

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	お一人お一人の人格を尊重したお声掛けが、長年生きて来られた先輩への尊厳の無い声掛けになっている時がある。又認知症への理解不足もあり不適切な言葉を使ったりしている事があったりしている。今後はプライバシー、尊厳、認知症の理解の徹底を行い実践することが課題である。	入居者様に安心して穏やかに生活し笑いのある日常を送っていただける様に、尊厳ある声掛けを行い、すべての職員が実践できるようにしたい。	接遇、プライバシー、認知症の研修の開催を行い認識を深め、日々の活動において実践する。苗字でお呼びすることの徹底、声、トーン、尊厳を無視した声掛け等の防止、適正な介護の取り組み、身体拘束、不在居室入室時のノック、挨拶の励行を行っていく。	12ヶ月
2	15	食事は、高齢者にとって重要な楽しみ一つであり認識のもと、その方の嗜好の聞き取りを行うとともに、献立づくりから食後の後片付けの中で出来ることに参加出来る様に支援している。食事の介助においても出来る限り自己摂取が維持出来る様に支援しているが、テーブルの高さがあっていない環境を整える必要性があった。	自己摂取が維持できる食材、食形態への配慮を必要とし個別な対応をするとともに、テーブルと車椅子の高さの適正化を図っていく。	お一人お一人の現状に即した食材、食形態の提供を行っていく。 自己摂取の維持が出来る 食環境を整える(車椅子とテーブルの高さの調整 器等の見直し)	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。